

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年11月9日

【四半期会計期間】 第126期第3四半期(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

【会社名】 株式会社不二家

【英訳名】 Fujiya Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 河村 宣行

【本店の所在の場所】 東京都文京区大塚二丁目15番6号

【電話番号】 (03)5978局8430番

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 安井 泰宏

【最寄りの連絡場所】 東京都文京区大塚二丁目15番6号

【電話番号】 (03)5978局8430番

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 安井 泰宏

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第125期 第3四半期 連結累計期間	第126期 第3四半期 連結累計期間	第125期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (百万円)	72,935	69,625	103,347
経常利益 (百万円)	469	900	2,346
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損益(は損失) (百万円)	158	109	1,207
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	252	73	1,570
純資産額 (百万円)	47,599	48,941	49,423
総資産額 (百万円)	67,234	67,374	71,645
1株当たり四半期(当期)純損益 金額(は損失) (円)	6.17	4.23	46.84
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	68.4	69.9	66.5

回次	第125期 第3四半期 連結会計期間	第126期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純損益金額 (は損失) (円)	12.05	2.43

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第125期については滞り株式が存在しないため、第125期第3四半期連結累計期間及び第126期第3四半期連結累計期間については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社および連結子会社)が判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日～9月30日)は、世界的に感染が拡大している新型コロナウイルスの影響により、我が国の経済は急速に悪化し、極めて厳しい状況になりました。

食品業界においては、外出や会食の自粛があり、特に飲食業や物販店では大きな影響を受けております。

このような状況下において当社グループは、従業員の雇用の確保や、健康の維持管理につとめ、新しい生活様式への対応を進めました。

当第3四半期は、第2四半期までに落ち込んだ売上の回復につとめ、特に洋菓子部門の販売の好調と生産性の維持・向上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、696億25百万円(対前年同期比95.5%)となりました。利益面では、営業利益は5億3百万円(対前年同期比312.6%)、経常利益は9億円(対前年同期比192.0%)と、増益となっております。

親会社株主に帰属する四半期純損失は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による特別損失を計上したこともあり、1億9百万円(前年同期は1億58百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第3四半期連結累計期間		前第3四半期連結累計期間		対前年同期比	増減
		2020年1月1日から 2020年9月30日まで		2019年1月1日から 2019年9月30日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
洋菓子事業	洋菓子	百万円 16,260	% 23.3	百万円 16,826	% 23.1	% 96.6	百万円 565
	レストラン	3,046	4.4	4,387	6.0	69.4	1,341
	計	19,307	27.7	21,214	29.1	91.0	1,906
製菓事業	菓子	44,269	63.6	45,233	62.0	97.9	963
	飲料	3,637	5.2	4,383	6.0	83.0	745
	計	47,907	68.8	49,616	68.0	96.6	1,708
その他		2,411	3.5	2,104	2.9	114.5	306
合計		69,625	100.0	72,935	100.0	95.5	3,309

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### <洋菓子事業>

当社単体の洋菓子においては、先に述べた状況のなかで、「おうち時間スイーツ応援」と題して、積極的な施策に取り組み、特に若年層に向けた販売促進活動を展開し新規顧客の獲得につとめました。

その結果、4月以降、既存店においては売上・客数ともに前年同期の実績を上回ることができました。

店舗面では、新規販路の拡大として納品店を増やしたことにより、不二家洋菓子店の営業店舗数は第2四半期から増加に転じ、前年同期差41店増の871店となっております。

広域流通企業との取り組みについては、生産性の高い製造ラインを活用したシュークリームやマカロンなど、当社グループのブランドを生かした製品提案を、Webを活用した営業活動のもとで積極的に行い、6月以降の売上は前年同期の実績を上回ることができ、回復傾向となっております。

利益面では、4月以降の好調な売上のもと販売管理費の抑制につとめ、前年同期の実績を上回ることができました。

㈱スイートガーデンでは、広域流通企業向け製品の売上は着実に伸長しておりますが、ギフト需要の減少等によるチェーン店の売上不振が影響し、前年同期の売上を下回りました。この対策として、チェーン店において不二家製品の取り扱いを増やし、売上の向上につとめております。

㈱ダロワイヨジャポンでは、第2四半期までの休業の影響等が大きく、売上は前年同期を上回ることはできませんでした。しかし、第3四半期に入り積極的な販促活動が奏功し、また、インターネット通販等にも力を入れたことにより急速に売上が回復しております。利益面では販売管理費の抑制により、着実に改善を進めることができました。

この結果、洋菓子類の売上高は、162億60百万円（対前年同期比96.6%）となりました。

レストラン事業では、休業や出店先商業施設の営業時間短縮等の影響により、売上高は30億46百万円（対前年同期比69.4%）と、前年同期の実績を大幅に下回りました。このような中、ケーキ類の拡販や、料理のテイクアウトシステムを導入して売上回復をはかっており、また、不採算店舗の閉鎖を進め、損益改善につとめております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における洋菓子事業全体の売上高は193億7百万円（対前年同期比91.0%）となりました。

#### < 製菓事業 >

当社単体の菓子においては、「カントリーマアム」や「ホームパイ」「ピーナッツチョコレート」等の徳用大袋製品の売上が、コロナ禍の巣ごもり需要で伸長しました。しかし、夏期からの催事の縮小、帰省自粛によるお土産需要減少等により、前年同期の売上を上回ることはできませんでした。

一方、9月に発売した個人向け製品のホワイトチョコレート「ルック3（ホワイトラバース）」は、特に若年層に向けたTVCMやSNSでの販促効果もあって、売上確保に大きく貢献しております。

利益面では、生産性の向上等により、前年同期の実績を上回ることができました。

また、環境対策への取り組みとしてプラスチック包材のダウンサイジング等を積極的に行っており、当第3四半期には「ミルキー」の紙パッケージ化を実施し、好評を得ております。

不二家（杭州）食品有限公司では、新型コロナウイルスの感染拡大により、工場の操業停止を余儀なくされた期間もありましたが、現地で人気のポップキャンディの新製品の販売が好調に推移しました。また、インターネット通販の拡大をはかるなどの施策を進めた結果、第1四半期に落ち込んだ売上を取り戻すことができ、売上・利益ともに前年同期の実績を上回ることができました。

この結果、製菓事業における菓子の売上高は、442億69百万円（対前年同期比97.9%）となりました。

飲料については、外出自粛による自販機売上の減少や店頭での販促活動の縮小が大きく影響しました。8月の猛暑によりレモンスカッシュ群の売上増はあったものの、売上高は36億37百万円（対前年同期比83.0%）と厳しい実績となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における製菓事業全体の売上高は、479億7百万円（対前年同期比96.6%）となりました。

<その他>

その他事業は、キャラクターグッズ販売及びライセンス事業、不動産賃貸事業並びに(株)不二家システムセンターの受注請負、データ入力サービスなどの事務受託業務であり、売上高は24億11百万円（対前年同期比114.5%）と前年同期を上回りました。

財政状態は、次のとおりであります。

流動資産は312億61百万円で、主に受取手形及び売掛金の減により前連結会計年度末に比べ37億46百万円減少いたしました。固定資産は361億12百万円で、主に有形固定資産や無形固定資産の減により、前連結会計年度末に比べ5億24百万円の減少となりました。

この結果、総資産は673億74百万円で前連結会計年度末に比べ42億71百万円減少いたしました。

また、流動負債は146億19百万円で、主に支払手形及び買掛金や未払金の減により前連結会計年度末に比べ30億80百万円減少いたしました。固定負債は38億13百万円で、主に長期借入金やリース債務の返済により前連結会計年度末に比べ7億8百万円減少いたしました。

この結果、負債は合計184億32百万円で、前連結会計年度末に比べ37億89百万円減少いたしました。

純資産は489億41百万円で、主に利益剰余金の減により前連結会計年度末に比べ4億82百万円減少いたしました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、3億8百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間におきまして、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間における重要な設備の新設の計画の主なものは次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)				
不二家 (杭州) 食品有限 公司	第二工場 (中国浙江省杭州市)	製菓事業	工場新設 及び製菓 生産設備	2,899	164	自己資金	2020年 7月	2023年 7月	(注)

(注) 完成後の増加能力については生産品目の詳細が未定のため記載していません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	25,784,659	25,784,659	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	25,784,659	25,784,659		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年9月30日		25,784,659		18,280		3,859

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 8,300		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
	(相互保有株式) 普通株式 2,500		同上
完全議決権株式(その他)	普通株式 25,752,500	257,525	同上
単元未満株式	普通株式 21,359		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	25,784,659		
総株主の議決権		257,525	

(注) 1 「単元未満株式」欄には自己株式27株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」の株式数の欄には、証券保管振替機構名義の株式が800株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数8個が含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社不二家	東京都文京区大塚二丁目 15番6号	8,300		8,300	0.03
(相互保有株式) 日本食材株式会社	埼玉県さいたま市中央区 本町西六丁目4番22号	2,500		2,500	0.00
計		10,800		10,800	0.04

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,309	16,518
受取手形及び売掛金	2 13,842	7,846
商品及び製品	3,943	3,999
仕掛品	344	318
原材料及び貯蔵品	2,045	2,029
その他	772	796
貸倒引当金	250	249
流動資産合計	35,007	31,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,045	7,148
機械装置及び運搬具（純額）	11,079	10,334
土地	3,647	3,647
リース資産（純額）	996	889
その他（純額）	684	1,090
有形固定資産合計	23,452	23,111
無形固定資産		
その他	2,319	2,036
無形固定資産合計	2,319	2,036
投資その他の資産		
投資有価証券	6,228	6,407
繰延税金資産	1,380	1,446
敷金及び保証金	2,191	2,144
退職給付に係る資産	277	273
その他	1,003	901
貸倒引当金	216	208
投資その他の資産合計	10,865	10,965
固定資産合計	36,637	36,112
資産合計	71,645	67,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	6,667	5,149
短期借入金	1,435	1,255
1年内償還予定の社債	140	90
リース債務	504	375
未払金	5,340	4,286
未払法人税等	445	302
賞与引当金	337	763
店舗閉鎖損失引当金	0	43
その他	2,827	2,352
流動負債合計	17,699	14,619
<b>固定負債</b>		
社債	90	-
長期借入金	350	131
リース債務	696	529
繰延税金負債	66	64
退職給付に係る負債	2,235	2,236
長期未払金	23	6
その他	1,060	845
固定負債合計	4,522	3,813
負債合計	22,221	18,432
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,065	4,065
利益剰余金	25,103	24,608
自己株式	18	18
株主資本合計	47,431	46,935
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	150	174
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	64	90
退職給付に係る調整累計額	102	77
その他の包括利益累計額合計	189	160
非支配株主持分	1,802	1,845
純資産合計	49,423	48,941
負債純資産合計	71,645	67,374

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	72,935	69,625
売上原価	38,858	37,104
売上総利益	34,076	32,521
販売費及び一般管理費	33,915	32,017
営業利益	161	503
営業外収益		
受取利息	35	46
受取配当金	41	42
持分法による投資利益	219	254
その他	77	91
営業外収益合計	374	435
営業外費用		
支払利息	12	10
為替差損	20	1
その他	33	26
営業外費用合計	66	38
経常利益	469	900
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	-	2
助成金収入	-	1 67
特別利益合計	0	70
特別損失		
固定資産売却損	5	-
固定資産廃棄損	63	59
減損損失	-	63
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	43
臨時休業等関連損失	-	2 140
特別損失合計	69	305
税金等調整前四半期純利益	400	665
法人税、住民税及び事業税	525	628
法人税等調整額	162	75
法人税等合計	362	553
四半期純利益	38	112
非支配株主に帰属する四半期純利益	197	221
親会社株主に帰属する四半期純損失( )	158	109

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	38	112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	41
為替換算調整勘定	256	36
退職給付に係る調整額	12	25
持分法適用会社に対する持分相当額	2	18
その他の包括利益合計	290	39
四半期包括利益	252	73
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	377	137
非支配株主に係る四半期包括利益	124	210

【注記事項】

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症に伴う政府による緊急事態宣言や各自治体からの休業要請等を受け、レストランや洋菓子店舗など小売業においては長期間にわたる店舗休業や営業時間短縮などにより大きな影響を受けました。

緊急事態宣言が解除された後は徐々に回復傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症の影響は、当連結会計年度末までは継続するものとの仮定に基づき、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等にかかる会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は不確実性があり、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

取引先の営業債務に対する保証

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
(株)ジェフグルメカード	30百万円	30百万円
計	30	30

2 期末日満期手形等の処理

期末日満期手形の会計処理は手形交換日をもって決済処理しております。

また、債権の一部については、手形と同様の期日条件で現金決済する方式を用いております。

前連結会計年度末日が金融機関休業日のため、期末日債権の一部が前連結会計年度末残高に含まれております。

その主なものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
売掛金	2,392百万円	百万円
計	2,392	

(四半期連結損益計算書関係)

1 助成金収入の内容は、新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置による政府及び各自治体からの雇用調整助成金収入等の金額であります。

2 臨時休業等関連損失の内容は、新型コロナウイルス感染症に伴う政府による緊急事態宣言や各自治体からの休業要請等を受け、店舗の臨時休業等により発生した損失額であり、その内訳は人件費、賃借料及び減価償却費等であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	3,220百万円	3,046百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月26日 定時株主総会	普通株式	386	15.00	2018年12月31日	2019年3月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月25日 定時株主総会	普通株式	386	15.00	2019年12月31日	2020年3月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,214	49,616	70,830	2,104	72,935		72,935
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	463	463	390	853	853	
計	21,214	50,079	71,294	2,495	73,789	853	72,935
セグメント損益(は損失)	1,575	3,860	2,284	399	2,684	2,523	161

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(は損失)の調整額 2,523百万円には、その他の調整額13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 2,537百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,307	47,907	67,214	2,411	69,625		69,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	414	414	407	822	822	
計	19,307	48,322	67,629	2,818	70,448	822	69,625
セグメント損益(は損失)	1,697	3,913	2,215	704	2,920	2,416	503

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(は損失)の調整額 2,416百万円には、その他の調整額15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 2,431百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)  
重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)  
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	6円17銭	4円23銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失金額( )(百万円)	158	109
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失金額( )(百万円)	158	109
普通株式の期中平均株式数(千株)	25,775	25,775

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月9日

株式会社不二家  
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 原 秀 敬 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石 田 大 輔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社不二家の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社不二家及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。